



東北大学

東北メディカル・メガバンク機構  
TOHOKU MEDICAL MEGABANK ORGANIZATION



平成 25 年 6 月 3 日  
東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

## 地域子ども長期健康調査の実施

東北大学東北メディカル・メガバンク機構は平成 25 年 6 月 7 日（金）から、宮城県南部で「地域子ども長期健康調査」の本調査を開始します。この調査は、東日本大震災後の子どもたちに病気の増加や症状の悪化の懸念があることに対して、

- 1.子どもたちの健康の実態を把握して、対策をたてること
- 2.心配な点のあるお子さんへの、適切な支援を行うこと
- 3.最先端の医学的支援によって、症状や予後がよくなるお子さんをいち早くみつけること\*

を目的として実施します。

※東北メディカル・メガバンク事業では、直接、診療行為そのものは行いません。適切な地域医療機関との連携のもと、その後の対応を行っていきます。その際に、診断上必要あるいは難治性疾患で新たな治療法開発が必要な場合に、本事業外で、保護者の方の同意のもと遺伝子解析を含む詳細な検査を実施して、該当するお子さんに最先端の医学的支援を行う可能性があります。

### 【東北大学東北メディカル・メガバンク機構 地域子ども長期健康調査事業詳細】

#### ■対象エリア

白石市、名取市、角田市、岩沼市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町、亘理町、山元町

#### ■対象者と方法

対象エリア公立小学校・中学校の小学 2 年・4 年・6 年生と中学 2 年生の児童・生徒の皆さんに学校を通じて「子どもの健康に関するアンケート」を配布します。ご家庭に持ち帰って、保護者の方に記入してもらい 6 月 21 日（金）までに返信いただきます。また、希望される場合は必要に応じた心と体に関する相談などの支援を東北大学東北メディカル・メガバンクの地域支援岩沼センターと地域支援白石センター（開所準備中）で実施します。

■昨年度の事前調査について

地域子ども長期健康調査では事前調査として、昨年 11 月より宮城県岩沼市、亘理町、山元町の公立小中学校でアンケートを配布し、郵送にて約 4 割の児童・生徒の保護者から回答を得ました。結果から、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、PTSD、広汎性発達障害等の可能性がある児童が見いだされています。また治療に関しては、気管支喘息で重度の症状があるにも関わらず、震災で治療を中断し、2 年近く経過した現在でも治療を再開できていない児童がいることが判明しています。

■地域子ども長期健康調査は、東北メディカル・メガバンク事業の行う三世代コホート調査の一部として実施されます。

【参考】

東北大学東北メディカル・メガバンク機構

<http://www.megabank.tohoku.ac.jp/>

(お問い合わせ先)

東北大学東北メディカル・メガバンク機構

予防医学・疫学部門 分子疫学分野

菊谷 昌浩 (きくや まさひろ)

成川 洋子 (なりかわ ようこ)

電話番号： 022-717-8104

Eメール： narikawayoko@med.tohoku.ac.jp

(報道担当)

東北大学東北メディカル・メガバンク機構

長神 風二 (ながみ ふうじ)

影山 麻衣子 (かげやま まいこ)

電話番号： 022-717-7908

ファックス： 022-717-7923

Eメール： fnagami@med.tohoku.ac.jp